

子ノ泊山に登ろう



国土地理院の電子地形図に追記して掲載

子ノ泊山登山のポイント

遭難を防止するため、子ノ泊山の道中には、所々、案内看板が表示されています。看板周辺は、比較的広い場所となっているため、休憩をとり、登山するようにしましょう。また、必ず2人以上で登るようにしましょう。

check point



3



山頂は、太平洋熊野灘や紀伊山地の山並み、熊野川などが見渡せる景観のいいポイントです。

1



鉄はしごから登り始める場合、急な傾斜が最初の難関ポイントになります。

2



山頂付近ではロープを使い、登る場所が数か所あります。

4



七十五人塚は、山頂から浅里方面に少し下った場所にある高さ1.3メートルの石積み塚です。

5



下るときは足元に気をつけ、軸足のひざを曲げると足が疲れにくくなります。

子ノ泊山の一等三角点



三角点は、測量を行う際の基準点となるものです。



子ノ泊山の山頂

子ノ泊山は、蔵光山の主峰で、町の北西部に位置し、標高は907メートル、町で最も高い山です。山頂からの展望がよく、南には太平洋熊野灘、北には紀伊山地の山並みと帯のように延びる熊野川が見渡せます。また、子ノ泊山は、「関西百名山」や「近畿百名山」に選ばれており、登山愛好家からも支持を得ています。

干支にちなみ、新年最初の登山に、その年の動物の名がつく山へ登る方が多く、子の年には、縁起を担ぐため、子ノ泊山へ登山する方が見られます。

今回の特集では、一般的なコースの桐原登山口（鉄はしご）から桐原尾根登山口（山彦新道）のコースをご紹介します。所要時間は登り約2時間、下り約2時間の計約4時間の登山となります。標高だけみると低い山のようにですが、実際の山は険しく、遭難される方がいるため注意してください。

登山する際には、登山計画を立て、登山地図・コンパス・非常食・懐中電灯・救急用品・水・雨具・ゴミ袋・防寒具や携帯電話などの準備物を持参してください。

楽しい登山となるように事前にしっかりと準備をして、事故や怪我のないようにしましょう。

図. 子ノ泊山登山コース断面図

